

## 福井市足羽山七ツ尾口坑道においてミジンツボ属*Akiyoshia*の貝類を発見

藤野 勇馬\*

A record of *Akiyoshia* sp. in Nanatsuoguchi mine in Mt. Asuwa, Fukui city.

Yuma FUJINO\*

(要旨) 福井県福井市足羽山の笏谷石を採掘していた坑道(通称 七ツ尾口坑道)での生物相調査中にミジンツボ属*Akiyoshia*の淡水貝類を採集した。ミジンツボ属貝類の発見は敦賀市樫曲のマンガン採掘跡に続いて県内で2例目である。

キーワード：ミジンツボ属, 地下水生貝類, 笏谷石

ミジンツボ属*Akiyoshia*は、目や色素が退化した殻長1.2~2mmほどの微小な地下水生貝類の一群である(Kuroda & Habe, 1954)。同属とされるものはこれまでに岩手県、茨城県、東京都、静岡県、愛知県、石川県、福井県、滋賀県、兵庫県、和歌山県、高知県、香川県、山口県、長崎県から見つかり、鍾乳洞内の水路や河川間隙水、井戸水、伏流水などに生息することが知られている(Kuroda & Habe, 1954, 1957; Habe, 1961, 1965; 湊, 1986; 矢野, 1987; 藤野, 2018)。福井県では、2014年に敦賀市の廃坑から同属と見られる貝類が見つかり、初めてその生息が確認されたが、嶺北地方からの記録はなかった。筆者は、2020年8月23日に福井市足羽山の七ツ尾口坑道においてミジンツボ属の貝類の生息を確認、採集した。これは福井県で2例目の記録である。

ミジンツボ属の一種 *Akiyoshia* sp.  
福井市. 6exe. 23-VIII-2020. 藤野勇馬採集

七ツ尾口坑道は足羽山北西側斜面のふもとに開口した奥行き350mほどの坑道で、かつて笏谷石を採掘していた坑道跡としては特に大きなものである(梅村, 2020)。坑道内にはアスワメクラチピゴミムシ*Trechiana sasajii*やアスワホラヒメグモ*Nesticus asuwanus*、アスワマシラグモ*Falcileptoneta asuwana*など七ツ尾口坑道を模式産地として記載された種もあり、多様な生物の生息基盤になっている。

ミジンツボ属の生息を確認したのは坑道内に設置された直径約60cm程度の金属製の水がめである(図1)。この水がめは天井からの漏水によって涵養されており、入坑者の手洗いなどに利用されてきた。なお、七ツ尾口坑道内にはこの水がめのほかにも、水たまりや



図1. ミジンツボ属*Akiyoshia*が確認された坑道内の水がめ

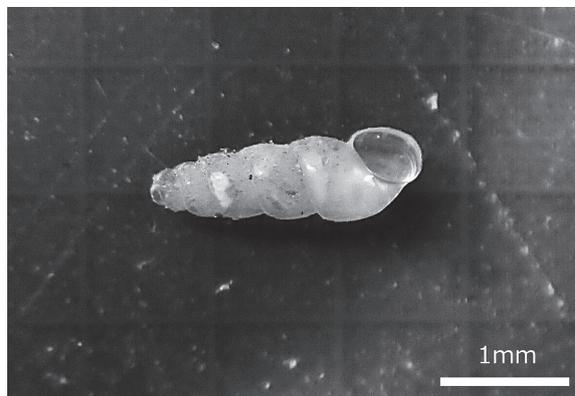


図2. ミジンツボ属生体  
(七ツ尾口坑道, 24-VIII-2020, 藤野勇馬撮影)

水路など様々な水辺環境が存在し、メクラヨコエビ属の一種*Pseudocrangonyx* sp.やケンミジンコ目の一種*Cyclopida* sp.などの生物が見つかり、ミジンツボ属は今のところ水がめ以外からは見つからない。

今回発見されたミジンツボ属の最大個体は殻長2.1mm、殻幅0.7mm、螺層数6で、螺層のふくらみは弱く、殻の輪郭は直線的である。これまで見つかった同属種としては最も殻長が大きい殻幅は相対的に小さ

\*NPO法人中池見ねっと 〒914-0005 敦賀市樫曲7-25

\*Nakaikemi-Net. 7-25, Kashimagari, Tsuruga city, Fukui 914-0005, Japan

く、極めて細長い。また、殻口は広く次体層と接し、扇形に近い狭卵形になる。

ミジンツボ属貝類は日本国内において東北から九州にまで生息しているが、研究が十分に進んでいないのが現状である。その主要因としては産地へのアクセスとサンプリングの難しさなどが考えられるが、七ツ尾口坑道と敦賀市深山の廃坑は比較的アクセスが容易で密度が高いため、ミジンツボ属貝類の研究の場として有益であろう。ただし、北陸新幹線の深山トンネル近傍に位置する敦賀市深山の廃坑は湧水によって乾燥化が進行しており、分類や生態についての基礎的研究が急務である。

## 謝 辞

福井市自然史博物館の梅村信哉氏と福井市自然史博物館特別館長の吉沢康暢氏には調査への帯同をご快諾いただいた。また、両氏には調査中、七ツ尾口坑道とその生物相、地質について有益なご助言をいただいた。調査に参加するよう誘ってくださった久米田賢治氏、調査に同行してくれた浅利裕太氏・中野光氏にも感謝申し上げる。

## 引用文献

- 藤野勇馬. 2018. 敦賀市深山の廃坑においてミジンツボ属 *Akiyoshia* の貝類を発見. 福井市自然史博物館研究報告 65, 79-80.
- Habe, T. 1961. Two New Subterranean Aquatic Snails. *Venus* 21 (3), 274-278.
- Habe, T. 1965. Descriptions of One New Species and One New Subspecies of Freshwater Gastropods from Japan. *Venus* 23 (4), 205-209.
- Kuroda, T., Habe, T. 1954. New Aquatic Gastropoda from Japan. *Venus* 18 (2), 71-79.
- Kuroda, T., Habe, T. 1957. Troglobiontic Aquatic Snails from Japan. *Venus* 19 (3・4), 183-197.
- 湊 宏. 1986. 地下水棲微小巻貝を和歌山県から採集する. *ちりぼたん* 19 (2), 38-39.
- 梅村信哉. 2020. 笏谷石採掘坑に生きる～足羽山七ツ尾口坑道の節足動物～. 福井市自然史博物館.
- 矢野重文. 1987. コウチミジンツボ香川県に出現. *ちりぼたん* 18 (1), 14-15.